

君も今日から3R博士

君には何ができるかな

学校の関連学習単元

小 4 / 社会

住みよい暮らしをつくるごみのしゅりと利用

プログラム概要

対象

幼 小1 小2 小3 小4 小5 小6 中学 大人



分野	時期	時間	人数	場所	講師	費用
廃棄物	通 年	45 分 (1 時限)	40 人 (1 クラス)	教室等	1 人 / 0 人	無 料



廃棄物

ねらい

- ・身近なところからごみ問題について考え、ごみ減量のためのキーワード「3R」について学ぶ。

実施内容

- ・浜松市のごみの現状について説明を聞く。
- ・ごみ減量のためのキーワード「3R」について学ぶ。
- ・身近にできる3Rについて考えて3Rができることについて宣言する。

事前準備

◇受講者が準備するもの ◆講師が準備するもの

- ・グループ分け（5～6人程度）をする。

使用する材料・道具

◇受講者が準備するもの ◆講師が準備するもの

◇筆記用具

- ◆生ごみ水切りグッズ
- ◆雑がみのサンプル
- ◆ワークシート

講座活用のワンポイントアドバイス

- ・小学生用社会科副読本「ごみとわたしたち」を発展的に学べます。
- ・学校向けプログラムです。一般の方でご希望の方は、ごみ減量推進課までお問い合わせください。一般の方向けの「3R 説明会」や「出前講座」を実施しています。

実施機関

浜松市環境政策課（浜松市環境学習指導者）

浜松市一般廃棄物対策課

下記連絡先へ実施日の 2 か月前までに申し込んでください。

また、実施の決定後、事前打合せが必要なため、講座実施の 1 週間前までに講師へご連絡ください。

問合せ・申込先： 浜松市環境政策課 TEL：053-453-6149 Mail：kankyou@city.hamamatsu.shizuoka.jp
申込方法はホームページをご覧ください。



プログラムの展開例

時間	内 容	指導のポイント
導入 10分	○ごみの現状について説明する。 ・浜松市ではどのくらいのごみが出ているのか ・もえるごみの量と中身について ・ごみ処理にかかる経費について ・なぜごみを減らさなければいけないのか 	・小学生の身近なものを例にあげて興味を向ける。 ・図や写真を用いて説明することで、小学生がイメージをしやすいようにする。
展開 25分	○ごみ減量のためのキーワード「3R」についてクイズをしながら学ぶ。 ・リデュースについて - 生ごみの水切りについて - 食品ロスについて - エコクッキングについて ・リユースについて ・リサイクルについて - 雑がみのリサイクルについて - 浜松市のリサイクルへの取組について ・グループに分かれて、ごみ減量のために何が必要か話合う。	・家庭から出るもえるごみの割合のうち多くを占めている「生ごみ」と「紙類」について説明する。 ・「食品ロス」について説明する。  ・エコクッキングを紹介する。 ・浜松市が取組んでいるごみ減量について説明する。
まとめ 10分	○身近なところでごみ減量で何ができるのか「3R宣言」を作成し、発表する。 ○質問タイム 	・グループで1人代表を決め、「3R宣言」を発表する。 3R宣言 今日から私たちは毎日の生活の中で身近なところからごみ減量に努めます。 ・できるだけ食べ残しをしない。 ・生ごみの水をしっかりきる。 

